

観点別評価

① ケース教材を自ら分析・判断し、プラス要因とマイナス要因を分類することができる。

【思考・判断・表現】（ワークシート1・行動観察）

(A) 十分満足できる	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する
自ら必要な情報を適切に判断し、プラス要因かマイナス要因にまとめることができ、ケース教材にない社会現象などについても積極的に記入することができる。	自ら必要な情報を適切に判断し、プラス要因かマイナス要因にまとめることができる。	自ら必要な情報を判断し、プラス要因かマイナス要因にまとめることに支援を要する。

② SWOT分析で整理された情報を活用して新しいビジネスを創造することができる。

【思考・判断・表現】（ワークシート2・行動観察）

(A) 十分満足できる	(B) おおむね満足できる	(C) 努力を要する
SWOT分析でまとめた要因を適切に判断し、主体的に分析し、活用して表現することができる。	SWOT分析でまとめた要因を適切に判断し、分析・活用して表現することができる。	SWOT分析でまとめた要因を適切に判断し、分析・活用して表現することに支援を要する。

※模擬授業を実施してみたの感想

- ・ケース教材を読んで各自で要因を積極的にまとめていた。ただ、ケースに書かれていた要因はすぐにまとめていたが、外部の要因などを創造してまとめる生徒は少なかったため、教員サイドで例を上げられるようにしておいた方がいい。
- ・自分では気が付かなかった要因などを他人の意見を聞くことによって、共感できたり、見方を変えることができ良かった。
- ・SWOT分析の知識があまりなくても十分にビジネスの創造に結びつけることができた。
- ・新しいビジネスの創造ということで、すごく難しく捉えてしまい、意見を出しにくい雰囲気にならないようにすることが大切だと思います。
(人の意見には反対意見を絶対に出さないことを前提とする)